

【月刊HMレポート：Vol.207】 2018年12月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



数ヶ月で売上拡大を果たした専務の発想

## 組織をパワーアップするキーパーソン

◆◆◆ キーパーソンを中核に置いた“役割”再設計 ◆◆◆

### ◆本レポートの内容◆

- |                           |       |    |
|---------------------------|-------|----|
| 【1】 A社で議論が沸騰した適材適所とチームワーク | ..... | 1頁 |
| 【2】 状況変化が激しい中では現状維持の方が難しい | ..... | 2頁 |
| 【3】 既成概念下で“適材適所”を考えるのは危険？ | ..... | 3頁 |
| 【4】 進歩のない組織のままなら“適材”は無意味？ | ..... | 4頁 |
| 【5】 チームワーク課題を飛び越えて成果を出すA社 | ..... | 5頁 |

しばしば“適材適所”が話題になります。もちろん、その意味は、適任者を適するポジションにつけることです。ただ、そこに留まらず、配置された適材が“チームワーク”を発揮することも重要課題になります。

ところが、適材適所を既成概念で捉えてしまうから、逆に、チームワークに問題が出るのであって、もっと“必要業務に即して”捉えるなら、チームワークなど“当たり前”の組織が作れるという見解もあるのです。

そこで、既成概念に囚われない考え方を、ご紹介したいと思います。



## SPC 労務管理センター jinjiken 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : [info@jinjiken.co.jp](mailto:info@jinjiken.co.jp)

- SPC 労務管理センター TEL:052-331-0844 FAX:052-321-1108
- jinjiken 人事労務管理研究所 TEL:052-331-0845 FAX:052-321-1125

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。